



西東京市
農産物キャラクター
「めぐみちゃん」

農業委員会だより

西東京市の風と緑～

第21号

編集・発行 西東京市農業委員会
(保谷庁舎)

住所:西東京市中町1-5-1
TEL:042-438-4044(直通)

西東京市民まつり

11月12日(土)・13日(日)の両日、恒例の第16回西東京市民まつりが、いこいの森公園で盛大に開催されました。両日ともに天気に恵まれ、2日間で19万6千人の来場がありました。

農業コーナーでは農産物品評会が開催され、608点の出展がありました。今年は、度重なる台風や秋の長雨、日照不足等の影響が心配されましたが、生産者の方の日々絶え間ない努力により、とても素



晴らしい農産物がそろいました。

また、毎年恒例の野菜で作られた宝船も展示され、来場者の注目を集めていました。13日の午後に行われた宝船の野菜の宝分けは大変な人気となり、品評会に出品された農産物の販売とともに、多くの来場者の方々に市内産農産物をPRする機会となりました。



品評会の主な受賞者は、次の方々です(敬称略)。

野菜部門



東京都知事賞

キャベツ

東京都産業労働局長賞

里芋

東京都農業振興事務所長賞

柿

西東京市長賞

大根

西東京市農業委員会会長賞

キウイ

植木部門

東京都知事賞

ヤマボウシ

東京都産業労働局長賞

常緑ヤマボウシ

東京都農業振興事務所長賞

ビオラ

西東京市議会議長賞

シヤラ

北多摩地区農業委員会連合会会長賞
モミジ

保谷 眞啓

海老沢 誠一

都築 俊

中野 雄一

相田 健吾

植島 春樹

野口 義典

本橋 保昭

野口 義典

岡部 光一

農業施策に関する
意見提出について

11月9日(水)に村田会長を始め農業委員18名が出席し、平成28年度農業施策に関する意見を市長に提出しました。

今回は、厳しい経済・社会情勢に対応できる農業の実現に向け、農業振興に関する多様な取り組みの推進、農地保全を目的とした農地の有効利用促進、及び都市農業における農業委員会組織の役割の重視の観点から、「税制等の制度改正について」、「生産緑地の再指定等」、「農業者への適切な支援」、「市民の農業に対する理解の促進について」の四項目の内容を盛り込んでおります。



意見を提出した後、市長からは、各項目に対する今後の具体的な取り組みについての話があり、その後、懇談を行いました。この中で、農業委員からは、現在政府が進めている農業改革に関する課題、改選後の農業委員会組織の運営に対する考え方、市の農業振興施策に対する要望など活発な意見が出されました。



会長あいさつ



懇談の様子



西東京市
農業委員会会長
村田 秀夫

平成29年1月に今期の農業委員会の任期が満了となります。今期

は会長として、都の国家戦略特区、都市農業振興基本法、農業委員会法の改正という大きな問題に直面し、東京都農業会議を中心とした研修や勉強会に多くの時間を費やしてきました。これらの一連の改革の流れが今後の都市農家存続の大きな実りになればと期待しています。

今期私が常に心がけていたことは、農業委員会の農地に関する法令業務等は、個々の農家にとって、さまざま、かつ重要な問題を含んでいることから、そういった重要な業務に対して、法的に常に慎重に、そして緊張感を持ちながら、農家の立場も尊重して対処するということでした。

戦後長きにわたって続いてきた、公選制を中心とした農業委員会制度は、西東京市においても今期で終了となりますが、来期以降の新しい農業委員会制度の運営方法においても、地域社会の中で少数派になった農家の立場をできるだけ尊重するという姿勢で取り組んでいただきたいと思います。

末筆になりますが、今期の農業委員会の活動にご理解とご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。



新たな農業委員会の選任のスケジュールについて

農業委員会法の改正が行われ、平成28年4月1日から施行されました。現委員の任期満了を控え、9

月1日から9月30日までの間で、農業委員の募集を行いました。平成29年1月21日より、新たな農業委員の任期が始まります。委員選任のスケジュールについては、次のとおりとなります。

西東京市農業委員の選任スケジュールについて	
市長による推薦・公募	市報、市ホームページにて募集(平成28年9月1日～30日)
候補者評価委員会 (10月7日)	(1)候補者 ①地区推薦:14名 ②農業団体等推薦:2名 ③公募:3名 (2)委員会の構成 ①農業委員会会長 ②農業委員会会長職務代理 ③副市長 ④総務部長 ⑤生活文化スポーツ部長 ⑥産業振興課長 ⇒19名の候補者全員を、農業委員として妥当と認める。
市長による議案提出	候補者評価委員会の意見を参考に、候補者を選定する。 ⇒平成28年第4回定例会(12月)に議案を提出し、市議会の同意を求める予定。
市長による選任	市議会での同意(議決)に基づき、市長による選任及び選任書の交付
新委員の任命	平成29年1月21日付けで任命手続を行う。

「親子で野菜つくり」にチャレンジの実施について

9月3日(土)に種まき、10月29日(土)に収穫の日程で、「農のアカデミー体験実習農園」において、西東京市が主催する「親子で野菜づくり」にチャレンジが、農業委員会の協力のもとで行われました。多数の申し込みの中から抽選により、20組45名の親子が参加し、作業を行いました。

今年、9月の長雨や日照不足、虫害など、生育が心配されましたが、参加いただいた農業委員の協力により、たくさんのカブとだいこんが元気に育ち、親子での収穫を体験することができました。

農業委員の方々からは、西東京市の農業や畑で行ってきた作業の内容、野菜の生育の経過、また、作業のコツやその野菜の特徴などのお話をいただき、参加者の皆さんに西東京市の農業を理解していただく良い機会となりました。



緑のアカデミーの開催について



10月15日(土)、西東京いこいの森公園(緑町三丁目2番)で、田無緑化組合の協力により、市主催の緑のアカデミーが開催されました。当日は、市民及びふるさと納税の招待者、合わせて175名の方が参加し、①「グリーン・プロ講習会」②市内で育った苗木を活用した「樹木アレンジメント教室」③「植木「プロの技」デモンストレーション」(庭石設置の実演)④田無緑化組合の方と会場内を散策しながら樹木について学ぶ、「グリーン・アドベンチャー」、以上4つのプログラムにより、緑と職人の技を楽しんでいただきました。

めぐみちゃんメニュー
マルシェ・ド・ソワレ & 西東京いこいの森マルシェを
開催しました

マルシェ・ド・ソワレ

11月17日(木)の16時から保谷駅南口ペデストリアンデッキで、マルシェ・ド・ソワレを開催しました。めぐみちゃんメニュー事業の参加農業者及び商工業者、計13事業者が出店し、それぞれが生産している新鮮な農産物や加工品を販売しました。

夜に実施するのは初の試みでしたが、仕事帰りの方など、数多くの方々が訪れ、大盛況となりました。



西東京いこいの森マルシェ



11月26日(土)には、西東京いこいの森公園(緑町三丁目2番)で、いこいの森マルシェを開催しました。こちらの事業には、計14事業者の出店があり、晴天の秋空の下、野菜や果樹に加えて加工品も販売され、会場に多くの来場者が訪れました。

東京都の事業である、「TOKYOウオーク」のゴール地点で開催しました。当日は「TOKYOウオーク」の参加者の方にも、市内の味覚を楽しんでいただきました。

西東京市農業委員会
研修旅行について

11月1日～2日に、農業委員15名が参加して、研修旅行を行いました。一日目は、広島県にある「J.A尾道市因島営農センター」を視察し、温暖な気候ならではの柑橘類の栽培について学びました。二日目は、愛媛県にある「株式会社井関松山製造所」を視察し、農機の製造過程を見学する等有意義な研修となりました。



農地利用状況調査

10月24日(月)から26日(水)までの三日間、農地法第30条に基づいた農地利用状況調査(農地パトロール)を実施いたしました。

ル)を実施いたしました。

6班に分かれ、分担地区の農地を、農業委員会で作成した肥培管理基準に基づいて、公正な観点で調査しました。

日頃より、丁寧な肥培管理を行っている様子がうかがえる農地がほとんどでした。

農業者の皆様には、事前調査の段階から当日までご協力いただき、ありがとうございます。農業委員会は、引き続き農地の適切な利用に対する助言・指導を行うてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

農業委員会だより第21号はいかがでしたでしょうか。農業委員会改選にあたり、現メンバーでの編集はこれが最後になります。ありがとうございます。

これから寒い季節となりますので、くれぐれもお身体にはお気を付けてください。今後とも地域の農業者の皆さまの役に立つ情報の提供に努めてまいりますので、引き続きご愛読をよろしくお願いたします。

編集委員一同